



Converttech
JAPAN 2021

新機能性材料展2021

JFlex2021

3DECO tech
2021

【 News Release 】 2020年11月25日

コンパ-ティングテクノロジー総合展事務局

報道関係者各位

医療従事者が登壇 ウィズコロナ時代の最先端医療セミナー開催 ～遠隔重症患者診療・スマートホスピタル構想について語る！～

このたび、2020年12月9日(水)から11日(金)まで東京ビッグサイトにて、素材とデバイスの加工技術展「JFlex・新機能性材料展・3DECOtech・Converttech JAPAN」(コンパ-ティングテクノロジー総合展)を開催します。

(主催:株式会社加工技術研究会 共催:株式会社JTBコミュニケーションデザイン)

新型コロナウイルスがもたらす“あたらしい日常”の中で“いまできること”は何か。最先端テクノロジーに限らず既存技術で医療分野に貢献できることは何か。本展では医療・ヘルスケア分野をテーマに医療現場より2名の医師を招聘し、併催セミナー「ニューノーマル時代の医療・介護現場を支える生体センシング最前線」を開催します。

基調講演には、メディアに多数出演の讚井将満氏(自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長 集中治療部 教授)が登壇し、最先端医療として注目される『遠隔重症患者診療 (tele-ICU)』の取り組みについて語ります。ICUでは患者の心電図、呼吸数、心拍数、酸素飽和度の他、リアルタイムの患者映像やモニター映像が必要不可欠です。患者と医師をつなぐ「遠隔集中治療支援システム」は医師の負担軽減だけでなく、拠点病院から地域病院をつなぐ新しい治療の在り方として大いに期待されています。また名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンターからは特任助教の大山慎太郎氏を招き、HaaS(Healthcare as a Service)社会とスマートホスピタル構想について、産学連携による異業種の技術導入や成功事例を具体的にお話いただきます。少子高齢化社会への適応や医療従事者の離職率低減に貢献するスマート医療の未来の展望がわかります。

上記2名の他、東京理科大学、ジャパンディスプレイからは最先端ウェアラブルデバイスについて、NTTドコモからは5G時代の医療現場における企業との協創や地域医療での活用事例の講演もあります。大変貴重な機会ですのでぜひ聴講いただき、社会課題を解決する“異分野融合型のイノベーション”につなげてください。

12月10日(木) ニューノーマル時代の医療・介護現場を支える生体センシング最前線

【事前登録制 / 無料】

▼【基調講演】With コロナ時代の遠隔重症患者診療 (tele-ICU)

讚井 将満 自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長
集中治療部 教授



自治医科大学附属
さいたま医療センター
副センター長
集中治療部 教授
讚井 将満

▼バイオ燃料電池を搭載した次世代型ウェアラブルデバイス

四反田 功 東京理科大学 理工学部 准教授

▼医療・ヘルスケアに向けたジャパンディスプレイの新しいデバイス技術

仲島 義晴 ジャパンディスプレイ 執行役員 チーフ・テクノロジー・オフィサー兼 R & D 本部長

▼5G時代のビジネス協創-5G・先進技術の医療現場での活用事例-

奥島 啓介 NTTドコモ 5G・IoT ビジネス部 ビジネスデザイン 担当部長

▼Healthcare as a Service (HaaS)社会とスマートホスピタル

大山 慎太郎 名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター 特任助教

[※セミナー詳細はこちら](#)

